

質問カード Q&A

Q 推し武道が終了してしまった後には、どう展開しようと考えているんですか？

たとえ作品の連載が終わったとしても、玲奈ちゃんが和気町で育ち和気閑谷高校に通ったということは変わりません！

推し武道のファンがふと作品を懐かしみ和気町に来てくれる。そんな将来が来ればいいと思っています。

Q 今後も山陽学園様を通じて、セミナー等の開催予定はありますか？

山陽学園大学と和気町は包括連携協定を結んでいますので、ご依頼があればできるだけ協力はさせていただきたいと思っています！

Q 「コンテンツによる町おこし」は、ノウハウだけでは再現性は低いですかね？
(にせびよさんの様な、行政とをつなぐキーマンの存在は重要ですね)

ノウハウはあくまでも方法に過ぎないので、「自分の住んでいるところを良くしたい」という情熱が必要だと思います。

その情熱が多くの人に伝わっていくことが地域の魅力を発信することになると思います。

町おこしには、「情熱」と「技術（ノウハウ）」の両方が必要だと思います。

Q 和気町でライブをしたり等がありますか？

和気鶉飼谷温泉にはライブができる多目的ホールがあります！

ライブなどもできれば盛り上がりますね！そういう企画も考えていきたいと思っています！

Q お仕事と推し事の線引き、バランスはいかがですか？
これからも和気町を推してもらえますか？

私は「和気町推し」ですので、「お仕事＝推しごと」になっています。

今後も和気町ファンであり続けます！

Q 色々な会社とコラボされていますが、印象的な事は？
エピソードとかありますか？

それぞれの企業の担当者様もとても素敵な方が多く、それぞれに良い思い出があります。

町内の事業者の方なども新規にコラボグッズを作られたり、地元での広がりを感じられたのが嬉しいです！

Q 推し武道とのコラボで活動を行ってきて、活動をやってよかったなと思った瞬間はありますか。

たくさんの方が「和気町さんありがとう！」と言ってくれることです。

また、この企画を通じ和気町を知ってもらったり、初めて来たというお声を頂くことをがとても嬉しいです。

Q 今後はどのような活動をしていくのか？

今回の企画を通じ、多くの人に和気町のことを知ってもらいました。今度は、和気町の自然や歴史などの魅力を多くの人に知っていただきたいと思っています！

Q このプロジェクトを行う課程で一番苦労したことは何ですか。

初めてのことで手探り＆手作りで色々なことを進めてきました。

大変なこともありましたが、役場の内外を問わずたくさんの方に助けていただきました。

和気町ファンクラブの方や和気町に来てくださった方に、喜んでもらえるような企画を考えて実現させていくことにたくさんの労力を費やしました。やっている時は大変と感じましたが、今ではとてもいい思い出です。



SNSの活用を多くしているようですが、SNSをやっていない人に対してはどうやって広がっていきますか？
当方はスマホではないのでファンクラブに入れません。

駅や、観光協会、町施設などに和気町ファンクラブのリーフレットを設置しております。また、町内外でのイベントにも出展をして和気町の活動をPRしています。

ファンクラブへのご入会には公式LINEへの登録が必要ですが、和気町ファンクラブの活動は、印刷物やイベントで知ることができます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



現在までの取組はよくわかりました。
・これからの展望、戦略をお聞きしたいです。 10年後、20年後どうなっていくのか。
・いつまでも自治体が引っ張っていけるのか、地元の団体、サークルへ委譲していくことは考えていないのか。

地元の団体などで、こういう活動を引き継いでいくのが一番いいと思っています。

そのためには、今まで以上に地元に向けたPRを行っていき協力をしてくださる仲間を増やしていければと思っています！



アニメや実写は一息ついてますが、転機を迎えている原作の方は、これからどの様に活かしていきますか？

これからChamjamがどうなっていくかとても気になります！

Chamjamが武道館に行くのと和気町が全国的に有名になるとどっちが先になりますかね？

和気町は、玲奈ちゃんが生まれ育った町です。その事実は変わりませんのでこれからも推し武道を推していきたいと思います。



興味深いお話ありがとうございました。
地域おこし協力隊の任期は3年だと思うのですが、新井さんが退任された後、どうやってこの熱量を継続させようとお考えでしょうか。

退任した後のことは、具体的にはまだ考えていません。熱量を継続するってとても難しいことだと私自身も考えています。

今回の企画は、若手職員の「やりたい！」という気持ちから始まりました。当事者意識を持って仕事をする事で「楽しい」や「嬉しい」という気持ちになることを伝えていければと思っています。



『推し』誰ですか？

あーやです！横田文です！！

私服やメイド姿も可愛いですが、ステージ衣装が一番似合ってるのは、あーやだと思います！！！！



やりがいは？

行政の仕事のいいところは、「社会貢献」に直結していることだと思います。

今まではプライベートの時間でボランティア活動などをしてきましたが、地域おこし協力隊になったことで、お給料をいただいて社会の役に立つことができるので、それがモチベーションにつながっています！



・プロモーションでコラボしたアイドルやコスプレイヤーの方は、和気にゆかりのない人だと思うが、どのような経緯でつながったのか。
・基きょうだいが推し武道の中でも必ずしも主要キャラというわけではないと思うが、そこに着目してプロモーションを行おうと思ったきっかけは何だったのか。

今回の企画でコラボをした企業やアイドル・俳優さんなど、今回の企画で知り合った方たちのほとんど、「聞くのはタダ」と思い直接お電話をしたり、メールやFaxをして繋がっていきました。

基兄妹が和気町出身だったというのが一番の理由ですが、玲奈ちゃんはChamjamよりもフォロワー数が多いインフルエンサーなので、そこにあやかって情報拡散をしたいと思いました！

それにChamjamより先に玲奈ちゃんがPRキャラクターになる展開が、推し武道のファンは面白がってくれるだろうな。というのも大きな理由のひとつです。



ファンと地域との共感や和気町のファンを増やす目的や仕組み作りを大変面白く拝聴しました。
言える範囲で結構ですが、これからの戦略は何を考えられているのでしょうか？

いままで和気町の存在を多くの人に知ってもらうための活動をしてきました。

今後は和気町の魅力である自然や、町内のイベントなどの情報発信も強化して和気町をもっと好きになってもらいたと思います！



マンガは連載中で、コアなファン層には根強い人気がありますが、ドラマ・映画は放送・放映から数年が経過しており、年々、一般の方の熱量が下がっているのを体感しております。今後の活動や展開は、どのようにお考えでしょうか。

作品のファンだけにこだわらず、和気町に来たくなるような企画をしたり、和気町の取り組みを面白がってくれるファンの獲得も行っていきたくと思います！

私の大好きな和気町に、たくさんの人に来てもらい良さを知ってもらいたと思います！



表町の時のように何か催しをしているときだけでもグッズの販売をすることは難しいでしょうか。

行政が物販を直接することは難しいので、グッズをすでに作られている企業さんに協力をしていただくなどして物販なども実現できていけばいいと思っています。



和気町内には、コミックの中に描かれた風景や建物がありませんので、いわゆる「聖地巡礼」の対象になりにくい状況ですが、それでもコラボに踏み切ろうと思われたポイント（「戦略として」の決め手が◆になります）は何だったのでしょうか？（2人の登場人物の住んでいる所という設定だけですよね）

決め手は作品の内容です。

『推し武道』は、ストーリー的に読者の斜め上をいく展開が多く、それを楽しめる読者が多いと思いました。ですので、作品の舞台ではない町が「聖地」を目指す。という展開も読者は喜ぶのではないかと考えました。



・サーモンピンクパンが食べてみたかったです。コラボパン屋さんはどこかにないでしょうか？
・映画のつづきが見たいです。

私も食べたいです！確か映画のパンフレットにレシピが公開されてました。映画の続きも見たいですね～

サーモンピンクパンを、売られているお店があったらぜひ教えてください！



推し武道の成功を維持するため、今後どのような活動を続けるのでしょうか。
若者以外（高齢者）への認知はどのようにされているのでしょうか。

和気町役場の正面玄関には、推し武道のキャラクターパネルが常設されています。

そして、広報誌での記事掲載や町内のお祭りやイベントに告知ブースを出展したりしています。

徐々に和気町の風景の一部としてご高齢の方たちにも親しんで貰いたと思っています。



今回webで見れたもののアーカイブはないのですか。現地で詳細に見れなかった映像が見えたらうれしいのですが。

近日中に動画に関しては、SNS（公式X）で公開いたします！



私は推し武道ファンで和気町を好きになりましたが、和気町の皆さんは「推し武道」や「推し文化」ファンになりましたか？
なっていないければ何が課題ですか？

和気町のファンになってくださりありがとうございます！和気町が『推し武道』の取り組みを初めて1年ちょっと、高齢者が多い和気町で定着するためにはもう少し時間がかかるのかなと考えています。

町内に設置されているパネルなどを通じて、徐々に和気町の風景の一部として町内の方にも受け入れてもらえるように活動していきたくと思います！



F Cの入会記念品が届きません。気長に待っていますが・・・

すいません！直ちに確認をいたします！ご不便をおかけして申し訳ございません。



「コンテンツ」と自治体をまじえたPRを行ったと思うのですが、大学祭をPRするならどういうPRをしますか？
山陽学園大学ではキャンプファイヤーなどあったりします。

まず企画の段階から、マスコミやSNSに取り上げてもらえる内容を意識したイベントを作るのも方法だと思います。

例えばある京都の大学では卒業式に卒業生が仮装をして出席することが恒例化してよくテレビニュースでも取り上げられています。

山陽学園大学の学園祭もそういう伝統になる企画を作ることができたら、PR効果は高いと思います。



自治体の知名度を上げることも大事だが、住民の人と町にきた人とのいい関係をきづくことが大切だとわかりましたが、岡山県全体の魅力を発信するには、やはり市町村それぞれが独自の企画をしなければならないのでしょうか？

岡山県在住の方も、岡山県以外の方も共感できる内容でのブランディングが必要だとおもいます。少し前になりますが、香川県が「うどん県」としてPRを行い話題になりました。

岡山県の人が納得できる共通のテーマで、市町村などの自治体だけではなく岡山県民全員が発信していくことができれば、魅力発信はできると思います。



和気町で地域の情報等を広めたい事を相談させていただきたいと思っています。役場や商工会等で相談部署を教えてください。

内容によって部署が変わってきますので、どういう内容かを教えていただければ担当の部署をご紹介します！

和気町の情報発信にご興味を持ってくださりありがとうございます。



和気町に来る人は、誰押しが一番多いですか？

すいません、調べてないのでわかりません。

「和気町推しだから、和気町にきた！」

って人が増えるようにこれからも頑張っていきたいと思います。



推し武道の中では誰押しですか？ 私はまいなちゃん推しです。

あーや推しです！